二度目の青春に「ベース」がアツい!!

本紙守口エリア 編集長　津田ベース教室主宰

U.K. × 津田藤宏

ドラム経験者でもあるU.K.

「楽器屋巡りのコツ」などにアドバイスを受ける津田さん

コロナ禍で止まっていた中高年の趣味活動が一気に活発化している。内容は園芸やスポーツなど多岐に渡るが、バンド全盛期を経験した世代にダントツの人気を誇るのが音楽系だ。その一つに、関西でも珍しいベース専門の「津田ベース教室」（城東区関目）がある。ギターやピアノなどと比較すると、マイナーな印象だが、いま中高年の受講者が急増している。その理由は何か。本紙守口エリア編集長であり、ドラム経験者のU.K.氏が教室を取材した。（西山美沙希）

THE ALFEEやビートルズに憧れて

U.K.　ベース専門の教室は関西でも珍しい。そもそも津田さんがベースを始めたきっかけは。音楽なら大体、ボーカルやギター、ピアノといったフロントマンを最初は希望しがちだ。僕はドラムだったが、正直ベースは“ノー事”感があるというか。

津田　そうですよね（笑）。ベースを始めたのは中学のとき。父親がバンドをやっていたので、家にギターとベースがたまたまあった。「音楽やったらモテるかも？」と考えたのがきっかけでした。

確かに最初は父にギターを教えてもらおうとしましたが、手が痛くて3時間で挫折。見かねた父が「ベースやったらいけるんちゃう？」って。弦が少ないし太いからベースは弾けた。そこからベースにのめりこみました。ビートルズやTHE ALFEEが好きで、寝食を忘れて練習していましたね。

U.K.　どうやって練習したんですか？　バンドを組んでいたらまだしもベースで弾き語りは難しいのでは？

津田　そう思いますよね。でも僕が好きなバンドはベースボーカルが多かった。

U.K.　そうか。ポールマッカートニーだ。

津田　そうです。THE ALFEEの桜井さんもベースボーカルですし。彼らのコピーから入ったので、練習すれば一人でもそこそこサマになるわけです。

U.K.　なるほど。ビートルズやTHE ALFEEは今年50歳の僕からしてもちょっと上の世代。当時流行していた音楽より、ややオールディーズな音楽に触れることで良かった点は？

津田　親世代の音楽でしたが、ふれることで知識が深まった。僕は現在44歳で、当時は Mr.Children などが流行っていましたが、その辺の音楽の源流は基本的にビートルズかローリングストーンズなんですよ。源流を知れば一気に基礎が身につくし、その後のアレンジも楽になる。それが良かったですね。

U.K.　教室を始めた理由は？

津田　最初はプロになろうと思っていたわけではなく、普通に進学して、社会人をしていました。一方で音楽活動を続けていたのですが、「教えてほしい」という人がポツポツと現れた。週末に教えていたら受講者が徐々に増えてきて、脱サラして教室を始めました。今ではありがたいことに、オンラインも含めて60数名の受講者が世界中にいます。

U.K.　世界中というのは？

津田　一番遠いところで来国のポストンに受講者がいます。あとはオランダとか北京とか。

U.K.　すごい。ベースが世界を繋いでいるわけだ。

ブランクのある人や初心者になぜオススメ？

U.K.　中高年世代の人が結構来られているとか。

津田　そうですね。退職したり、子育てがひと段落したりしたタイミングで時間を持て余すようになり、「新しく楽器を始めてみよう」とか、「昔やっていた音楽をもう一度やってみよう」という方が増えています。

U.K.　初心者やブランクのある人がベースを始めるおすすめポイントは。

津田　ベースはあらゆる楽器の中で一番ハードルが低めだと思うんですよ。

U.K.　僕も思います。

津田　そうでしょう？（笑）ピアノもギターも形になるまで時間がかかる。鍵盤なんて初めて見ると全部同じに見えるし、管楽器もまともな音が出るまで時間がかかるじゃないですか。でもベースは弦を押さえやすいし、運指も少ない。体験レッスンだけで1曲完成させることもできる。初心者でもブランクがあっても、ショートコースでそれなりに見栄えがよくなるんです。ドラムも8ビートを叩ければ、形になるというところがありますよね？

U.K.　そうなんです。だからベースやドラムはバンドの要。メロディー以外は何をやってるかわからないという人もいるが、実はこれがなかったら音楽は成立しない。特にベースはジャズやポップス以外にクラシック需要もあり、活躍の場が広い。

津田　まさにその通りです。受講者の動機も「憧れのアーティストがいて、ジャズが弾きたい」「昔ちょっとバンドをしていた程度弾けるが、アドリブソロが弾けるようになりたい」など幅広い。最初にちゃんと聞き取りをして、希望に合わせた適切なレッスンを考えます。

他におすすめのポイントをあげるなら、中高年の人がうちに来るようになると、コミュニティーが広がる傾向にあります。「ベースを習う前は無趣味だったが、趣味仲間が増えて毎日充実している」という話を聞くとうれしくなる。

U.K.　コミュニティとは例えば？

津田　受講者同士で情報交換ができるオンラインの場を設けています。「今どんなレッスンを受けているのか」や、「今度こんなライブやります」といったことを掲示板形式でみんな書き込んでいます。

他の音楽教室と組んで、合同イベントもよく開催しています。受講者同士が集まり、ライブ後は楽しく酒を飲んで語らう、という感じですね。

U.K.　なるほど。もう完全にサークルというか、自分が学生だった頃に戻れるわけだ。みなさん第二の青春を謳歌されているんですね。

津田　はい。僕は楽器の習得は、楽しく続けられることが何よりも重要だと考えています。練習で効果を感じてもらうことはもちろんですが、それだけではモチベーションが続かないこともある。そこで、仲間と一緒に練習したり情報を交換し合ったりすることが楽しい、刺激になります。「楽しみながら上達する」という教室のモットーを実現できるよう、色々と工夫しています。

プロやインフルエンサーとして活躍する受講者も

U.K.　関西では一番といっても過言ではないベース教室を営まれるようになったわけだが、ベース教室をして良かったと思うことは？

津田　やっぱり受講者がベーシストとしてどんどん活躍するようになってきたことです。プロや講師として活躍している人もいますし、趣味としてアップした演奏動画のSNSが今や3万人以上のフォロワーを抱えている人もいます。受講者の活躍は何より誇らしいですね。

U.K.　今後のさらなる展望はありますか？

津田　ベースの楽しさをより多くの方に知ってもらい、ベース業界をもっと盛り上げたいですね。個人的には現役プレイヤーとしても、さらに活動の幅を広げて頑張っていきたい。音楽は僕にとって心の栄養。今後も一生をかけて突き詰めていきます。

津田藤宏　大阪市旭区出身。エレクトリック・アコースティックベーシスト。「ジャズ・スタンダード・バイブル」の著者、納浩一氏に師事。現在大阪・関西を拠点に、ジャズ、ポップス、ロック、ファンク、ソウルなど幅広いジャンルの音楽を演奏している。2009年よりベース教室を開講。関西テレビ「よーいどん！」となりの人間国宝さん認定（2021年11月）。「読みつぐビートルズ」他、書籍や音楽系WEBライティングにも関わる。2023年秋からFMラジオ「津田藤宏のBass&Music Labo」のメインパーソリティも務めている。

U.K./楠雄二朗　タレント・俳優・ラジオDJ・MC・エアギタリスト（2005年全国大会準グランプリ）10代半ばからイギリスへ4年間半留学。音楽を愛し「人に感動を与える表現者になりたい」とDJを志すようになり、2000年にFM　RADIO局で初のレギュラー番組を担当。以降はテレビとラジオの音楽番組を主軸に活動。「関西エンタメ界のタレ目王子」と呼ばれる一方、夕方の情報番組への出演を機に「くうさん」の愛称でも親しまれてきた。2015年、大阪府守口市の親善大使「もりぐち夢・未来大使」に就任。2024年3月より、週刊大阪日日新聞守口エリア編集長に就任。

他楽器に比べてハードル低め。すぐに〝サマ〟になるところが魅力

「音楽を自分で操ろう！」
関目高殿駅徒歩30秒のベース教室

指導歴15年、ポップス・ロック・ジャズ・ファンク・ラテンなど
全てのジャンルに必要な基礎から応用まで、
初心者から経験者までご自身のペースに合わせて学べます。

1 動画を活用して着実ステップアップ
レッスン内容を毎回動画収録しています。
運指やフォームのポイントなどを何回でも見直し、
いつでも復習できるようにしているので
着実なステップアップをお約束します。

2 充実した設備
一般的なものから5弦、フレットレス、ウッドベース、左利き用や小学生向けのショートスケールベースなど6台本以上ご用意
仕事や学校帰りに手ぶらでもOK。
ビンテージ（1961年 JAZZ BASS）やハイエンド（Fodera Imperial）も体験できます。

3 充実した教室イベント
月に1回、ギター、サックス、ドラムの提携教室とコラボアンサンブルイベントを開講、アンサンブル技術の向上といろんな交流ができます。
他にも、東京のトップミュージシャンを招いてのレクチャーセッションなども行っています。

4 オンラインフォーラムでサポートと受講者さん同士の交流
オンラインフォーラムにて、時間外の質疑応答や受講者さん同志の交流の場を設けています。
活躍しているOBさん、提携教室講師もメンターに加わっています。

月会費 1,500円
※オンラインフォーラムでのサポートなど
※初回の み入会金5,000円が別途必要

レッスン料 1回60分 3,500円
※レッスン55分+転換5分
※オンラインも同料金　※学生は500円引き
大阪市助成カード使用可能

体験レッスン 1回60分 3,500円
※クレジットカード・銀行振込による前払い制
※学生は500円引き
大阪市助成カード使用可能

【開講日時】9:00～22:00　【定休日】金曜日（土日にイベントが入っている場合はレッスンを行う場合あり）レッスン日時はフレキシブルに対応可能　事前連絡でキャンセル料は発生しません

講師 津田（ツダヒロ） 藤宏（ベーシスト・音楽ライター・ラジオDJ）

大阪市旭区出身。関西大学第一中学・高校、同大学文学教育学科卒業。中学3年、THE　ALFEE→ビートルズの影響で音楽に目覚め、ベースを始める。高校時代より社会人ブルース・バンドに加入し、関西大学軽音楽部時代、様々なジャンルのバンドを経験。現在、大阪・関西を中心にジャズ、ウル・フュンク、ポップス、ブルース、ロックなどのサポートを行っている。並行して、2009年より自身のベース教室を開講し現在15年目。2021年関西テレビ「よーいどん」となりの人間国宝さん（津田ベース教室代表として）」認定。プロベーシスト・講師も輩出するなど現在に至る。「ジャズ・スタンダード・バイブル」の著者　ベーシスト納浩一氏に師事。パーマネントグループ「ついったー東方部（東方projectのジャズアレンジバンド）」では、2024年5月21枚目のアルバムをリリース。また前職のWebクリエイターの経験を活かし、納浩一氏、ジャズピアニスト高木里代子氏を始め、様々なミュージシャンのサイト運営・譜や制作ディレクション等手掛けている。音楽ライターとしてビートルズの専門書他、WEBマガジンにも寄稿。2023年秋よりFMラジオのメインパーソリティー「津田藤宏のBass & Music Labo」もスタート！

津田ベース教室
まずは体験レッスンで『体感』してみてください
お問い合わせ・体験申込はこちら
大阪市城東区関目5−5−13 寺崎ビル702
（谷町線関目高殿駅より徒歩30秒、京阪線関目駅、今里線関目成育駅より徒歩4分）
https://bass2416.com　大阪 ベースレッスン